

3 級 学科試験問題

1. 試験時間 60 分

2. 問題数 25 題 A 群 (真偽法 25 題)

3. 注意事項

- (1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。(電源は予め切り、バック等にしまって下さい)。
- (2) 机上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。
- (3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。
- (5) 試験官の指示に従って、試験問題のページ数を確認してください。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。
- (6) 解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。
- (7) 解答用紙には、等級、受検番号、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、受検区分と受検番号を必ずマークして下さい。
- (8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。
- (9) 問題は、A 群 (真偽法 25 題) の 25 題です。
 - ① 真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤のどちらか一つを記入して下さい。
 - ② 解答用紙の注意事項を必ず確認し、A 群と B 群の解答欄を間違わないように記入して下さい。
- (10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。また、退室後は試験が終了するまで再入室ができません。
- (11) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。試験開始後 30 分間は退出できません。
- (12) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。
- (13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。
- (14) 試験終了後、解答用紙は提出して下さい。問題用紙は持ち帰って下さい。

■ A群（真偽法）

1. カーペットの素材には、ナイロン・ウール・アクリル・ポリプロピレンなどがある。
2. ウェット型真空掃除機には、ポット型とアップライト型がある。
3. 運搬車を使う場合、決められた積載容量を重視し、高さは重視する必要はない。
4. トイレ清掃では、細菌などの感染を予防するため、保護手袋を着用する。
5. 階段には歩行安全のため、ノンスリップが取り付けられている。
6. 衛生器具などへ給水・給湯する器具を水栓という。
7. 建築物清掃業の事業登録の有効期間は4年である。
8. ごみ・ほこり・汚れなどは、衛生上の問題はない。
9. コンクリートは弱酸性である。
10. ビニル系の床材には、タイル状とシート状のものがある。
11. 玄関ホールは、建築物の顔ともいえる重要な場所である。
12. ほこりや汚れには、カビが発生したり、ダニが繁殖することが多い。
13. 作業標示板は、作業の優先と従事者の安全を守るために設置する。
14. 汚れの付着状態、建材の性質によって、除去方法が異なる。
15. 建築物の清掃作業は、日常清掃と定期清掃に大きく区分される。
16. 災害の原因は、質的要因と人的要因に大きく分けることができる。
17. 廃棄物処理の中の一時貯留容器とは、くず入れや茶がら入れ容器である。
18. 洗剤は建材を傷めない。
19. 建築物清掃において、建築物内で発生するごみ処理は含まれない。

20. 廃棄物集積所に保管された廃棄物を、建築物外に搬出することを、廃棄物のリサイクルという。
21. 駐車場は、外部から持ち込まれる土砂等が主な汚れである。
22. 清掃作業を最優先とし、利用者を足止めして実施する。
23. 機械類の定期的な点検は必要ない。
24. 建築物の環境衛生管理については、労働基準法という法律がある。
25. 石けんは、水に溶かすと酸性を示す。

3級 学科試験問題

< 正 解 >

| A群 真偽法 | |
|--------|----|
| 設問 | 解答 |
| 1 | 正 |
| 2 | 誤 |
| 3 | 誤 |
| 4 | 正 |
| 5 | 正 |
| 6 | 正 |
| 7 | 誤 |
| 8 | 誤 |
| 9 | 誤 |
| 10 | 正 |
| 11 | 正 |
| 12 | 正 |
| 13 | 誤 |
| 14 | 正 |
| 15 | 正 |
| 16 | 誤 |
| 17 | 正 |
| 18 | 誤 |
| 19 | 誤 |
| 20 | 誤 |
| 21 | 正 |
| 22 | 誤 |
| 23 | 誤 |
| 24 | 誤 |
| 25 | 誤 |